

概要

- エジプトの遺跡から見つかった魔法のスカラベの使い手。
- ただし例外もいる
- ある意味最大の特徴は初代がフォックスコミックス、2代目がチャールトンコミックス、3代目がDCコミックスで生み出されるという奇妙な来歴である
- ちなみにフォックスコミックはスーパーマンの成功を見て、元DC社員が設立した会社
- 初のパクリヒーローとして有名なワンダーマンもフォックスのキャラクター

ブルービートル達

ブルービートル（初代）

- 【ヒーロー】本名：ダニエル・ギャレット（Daniel Garrett） 通称ダン・ギャレット（Dan Garrett）
- 種族、人種：人間 / 地球人 / アメリカ人
- 初登場：Mystery Men Comics#1(1939年)
- 初登場は戦前、1939年、出版社が三度変遷した後、DCのヒーローとなった。
- 魔法のスカラベによって変身能力を得たヒーロー。普段の姿は警官である。
- チャールトンコミックに移籍した際、職業が警官から考古学者へと変わる
 - この時にトサカも付いた
- 現在、一部の号のみが著作権切れしており、
- Webサイト「ゴールデンエイジコミックス」（<http://goldenagecomics.co.uk//index.php?cid=548>）で公開されている。（拡張子cbr形式）
- 当時人気だったラジオドラマのキャラクター、グリーンホーネットを真似して作ったキャラクターである

ブルービートル（二代目）

- 【ヒーロー】本名：セオドア・スティーブン・コード（Theodore Stephen Kord） 通称テッド・コード（Ted Kord）
- 種族、人種：人間 / 地球人 / アメリカ人
- 初登場：Captain Atom#83
- 初代ブルービートルの教え子
- 自分の叔父の島へダンと共に行った際、叔父が世界征服を企んでいた事が判明
- ダンはブルービートルとなって戦うが力及ばず死んでしまう
- テッドは遺志を継ごうとしたもののスカラベには選ばれず
- 自身の頭脳を生かした発明品によって先代ブルービートルの遺志を継ぐ事を誓い、活動を始める
- ブースターゴールドの親友
- 会社（バットマンが経営している会社の子会社）の乗っ取りに合い、バットマンに相談するも門前払いされる
- バットマンが動かないので独自に捜査（この時相棒のマイケルは瀕死の重傷を負っていた）を開始するが...結果自身の死を招く事に
- インフィニットクライシスの前日談にて、マックスウェル・ロードの凶弾に倒れる
- 現在故人
- その後、時間移動でブースターゴールドはテッドを助ける事を試み、一度は成功して現代に帰還する

- しかしテッドが死ななかつたことにより、そこはOMACプロジェクトが成功した世界に
- なってしまった
 - そしてリップハンターが常々口にする「歴史は変えられない」の台詞の通り最終的にはテッドは死ぬことを選び、歴史は元に戻った

ブルービートル (3代目)

- 本名：ハイメ・レイエス (Jaime Reyes)
 - 初登場：Infinite Crisis#3(2006年)
 - ティーンエイジャーなヒーロー
 - 魔法のスカラベを拾い上げた事で新たなブルービートルとなる
 - テキサス在住のスペイン系アメリカ人(ヒスパニック)であり、親類も多い
 - 友人恋人はおろか、親戚のおばあちゃんにまで正体がバレている稀有なヒーロー
 - 今回スカラベはハイメの脊椎に一体化している
 - テッドに人気があった事、あんまりな死に方をした事から前評判は悪かった
 - しかしオンゴーイングの面白さで現在の地位を確立する
 - ただし自身のシリーズは打ち切られ、ブースターゴールドのバックアップとして生き延びた
 - その後、バックアップも打ち切りになり、2010年現在はJL：ジェネレーションロストに参加している
-
- 2010年、実写ドラマ化の企画が進行中
 - 現在発表されているものを見る限り、デザインや部屋の中はコミック版に忠実の様子

ブラックビートル

- 27世紀から来た魔法のスカラベの所有者

関連キャラクター

ブルービートル (キングダムカム)

ナイトオウル、ナイトオウル2世

- ウォッチメンのキャラクター
- 初代、2代目のブルービートルをモチーフにしている